

たかおかえきしゅうへん

高岡駅周辺地区

(富山県高岡市)

- 計画期間 平成24年度～平成28年度
- 面積 213ha
- 交付対象事業費 2,204.3百万円
- 市人口 166,641人

ポイント 歴史・文化資産を活用した、観光振興及び中心市街地の活性化

地区概要 高岡駅周辺地区における拠点施設等の整備により、本地区の南約1.5kmの位置にある北陸新幹線新高岡駅からの呼び込みと、滞在促進による中心市街地活性化を図る。

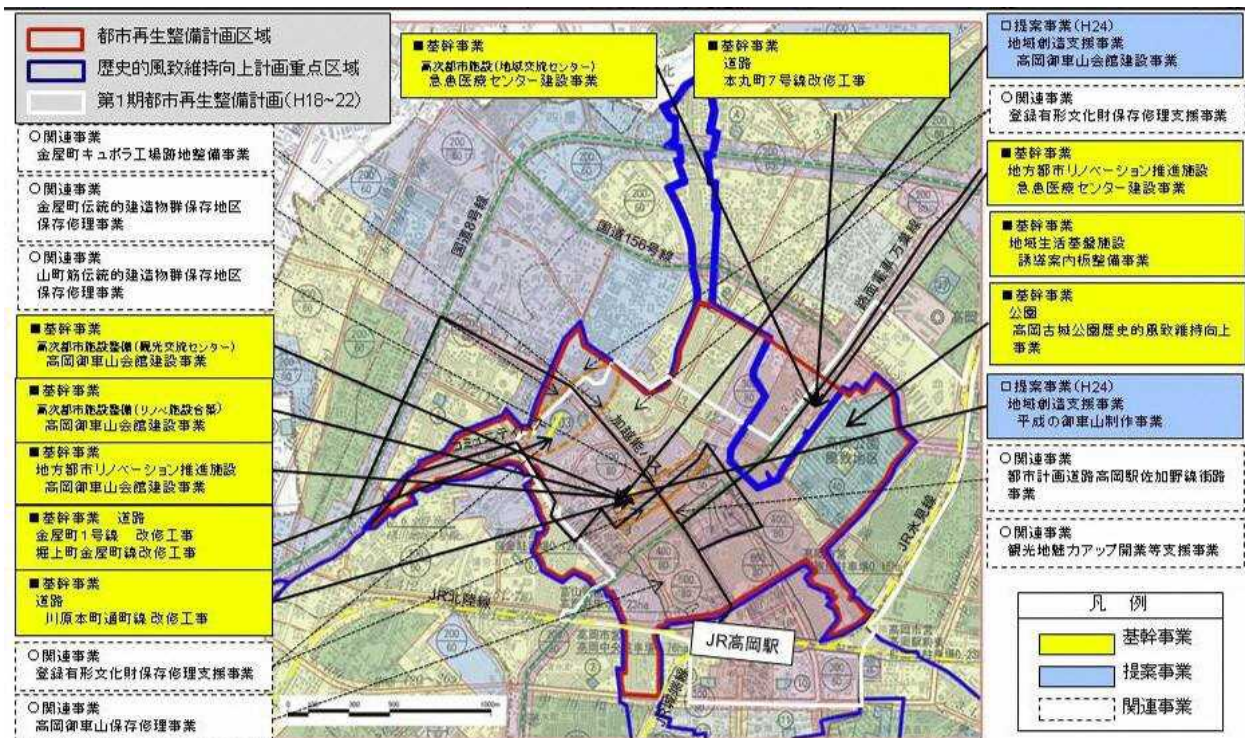
目標 伝統とにぎわいのある中心市街地の形成・中心市街地の公共・公益サービス機能の維持向上

指標 観光施設の整備や、情報板整備等により、観光まちづくりを通じた中心市街地の賑わい向上を目標とした。

| | | | |
|-------------|----------------|---|----------------|
| 地域来訪者数 | 877,523人 (H23) | → | 993,792人 (H28) |
| 歩行者通行量(平日値) | 9,672人 (H23) | → | 8,515人 (H28) |
| 高岡御車山祭来訪者数 | 138,000人 (H23) | → | 156,000人 (H28) |

事業内容

- 基幹事業 (2194.9百万円) → 公園 (208,400㎡)、観光交流センター整備 (商業施設合築)、道路改良、誘導案内板整備 (15箇所)、急患医療センター整備 (医療施設)
- 提案事業 (9.4百万円) → 高岡御車山会館建設事業、平成の御車山制作事業



地区の現況と課題

JR北陸本線、氷見線、城端線や路面電車万葉線が乗り入れる富山県西部の交通拠点である高岡駅の北側に位置する。複数の商店街や商業施設が集積する、高岡の中心市街地として栄えてきた地区であるが、近年、地区内人口の減少や高齢化、郊外部での大規模商業施設の立地に伴う商店街の衰退などが問題となっている。

また、平成 23 年度に認定された歴史的風致維持向上計画の重点地域に含まれる地区で、高岡古城公園、高岡大仏、山町筋、金屋町など、高岡の歴史を感じさせる観光スポットが集まる。

平成 26 年度には本地区の南約 1.5 km の位置に北陸新幹線新高岡駅が開業した。高岡の歴史・伝統を活用した観光・地域振興を通じた、中心市街地の活性化、賑わいの再生が求められている。



▲高岡駅周辺地区の現況（空撮）

提案事業の特徴

高岡御車山会館建設事業

観光交流センター「高岡御車山会館」の建設に伴い、建設事業効果の促進を図るため、ハード・ソフト整備を行う。

平成の御車山制作事業

観光交流センター「高岡御車山会館」のメイン展示物として、現代まで継承されてきた伝統工芸技術を用いた“御車山”を制作する。

御車山会館建設事業の効果促進と、伝統技術の継承、曳山制作技術者の育成を図る。



▲高岡古城公園

計画策定プロセス

高岡駅周辺地区の都市再生整備計画は、「高岡市歴史まちづくり計画」と重複する区域において、同計画の方針をもとに、歴史・文化資産を活用した観光振興及び中心市街地の活性化を目的として策定した。

高岡市歴史まちづくり計画

「高岡市歴史まちづくり計画」は、高岡の良好な歴史的風致を維持・向上し、広く市民が誇りと愛着を持てるような歴史都市の実現のために、歴史的風致の維持向上に関する方針、歴史的風致維持向上施設の整備・管理、歴史的風致形成建造物の指定・管理の考え方等を示す計画である。策定に当たっては、学識経験者、県、市で構成する「高岡市歴史まちづくり協議会」から意見聴取し、パブリックコメントをするなど、専門家や民意も広く取り入れた。



▲▼高岡御車山会館

